



皆様には日頃からご指導ご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

当協会は、本年度も理事会及び評議員会において決定致しました事業計画に基づき、成長ホルモン治療関係、研究助成事業およびヨード欠乏症対策事業等を着実にすすめていく所存であります。本年度も格別のご指導ご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年度研究助成金 自由課題研究募集について

1. 研究助成の対象の研究分野

(a) 自由課題研究

成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。

- (1) 身体の成長・発達に関する基礎的・臨床的研究
- (2) 成長ホルモン又は成長ホルモンの関連因子に関する基礎的・臨床的研究
- (3) 心の発達に関する研究

(b) FGHR (Forum on Growth Hormone Research) 臨床研究

日本ケミカルリサーチ㈱の FGHR 研究奨励賞

として、小児の成長・発達及び内分泌領域に関する臨床研究を対象とし、今後の臨床の発展に寄与すると認められる研究。

2. 研究課題：上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題
3. 助成金額：(a) は 1 件につき 50 万円
(b) は 1 件につき 60 万円
4. 応募方法：
 - (1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6 月 30 日迄に提出して下さい。
 - (2) 1 施設からの応募は 1 題に絞って下さい。
 - (3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

★上記募集の選考結果は、9 月上旬に応募者に通知します。なお、申請用紙は、当協会ホームページよりダウンロードできます。

寄附ご芳名

ニュース 90 号以後、次の方々からご寄附がありました。

貴重なご寄附、誠に有難うございました。

関東天然瓦斯開発株式会社
 合同資源産業株式会社
 日本天然ガス株式会社
 日宝化学株式会社

(順不同)

第 26 回公開シンポジウム開催

テーマ『子どもの豊かなコミュニケーションと心』

〈日 時〉6 月 8 日 (土) 1 時 30 分～4 時 30 分

〈場 所〉UDX シアター／秋葉原 UDX4 階 (JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分)

〈演 者〉志村 洋子 (埼玉大学教育学部 教授)

演題 “乳児期のコミュニケーションと音楽”

〈演 者〉渡辺 富夫 (岡山県立大学情報工学部 教授)

演題 “人を引き込む身体的コミュニケーション技術”

ぜひ、お気軽にご参加ください。(入場無料)

～主治医の先生方へ～

血中成長ホルモン測定値の補正について

今般、リコンビナント成長ホルモン標準品を用いた測定キットについて、キットの種類による測定値の乖離が明らかになり、平成 24 年度厚生労働省難治性疾患克服研究事業「間脳下垂体機能障害に関する調査研究」による「成長ホルモン分泌不全性低身長症の診断の手引き (平成 24 年度改訂)」及び「成人成長ホルモン分泌不全症の診断の手引き (平成 24 年度改訂)」において、「成長科学協会のキット毎の補正式で補正した GH 値で判定する」ととされました。

成長科学協会が、日本小児内分泌学会及び日本内分泌学会と連携して作成した補正式(平成 25 年 3 月 1 日現在) は下記のとおりです。

成長科学協会では、平成 25 年 3 月 15 日以降に実施される検査について、この補正式を適用することとなりましたので、お知らせいたします。

補正式 $Y=1.4X$ (Y: 判定に用いる値 X: 測定値)

※補正が必要な測定キット

ベックマン・コールター CLEIA (アクセス hGH)

現在アクセス hGH を使用している検査会社は、以下の通りです。

㈱ビー・エム・エル

㈱オー・ピー・エル

㈱ファルコバイオシステムズ

㈱メディック

三菱化学メディエンス㈱

㈱昭和メディカルサイエンス

㈱保健科学研究所

※ 検査会社によっては、再委託している場合があります。報告値がどの測定キットで測定されたかをご確認ください。

治療適応判定依頼書の改訂および判定書の変更

1. 上記のことに伴い、下記の治療適応判定依頼書を改訂しました。(キット名記載欄を追加。ホームページよりダウンロードできますのでご利用ください。)

* 成長ホルモン分泌不全性低身長症 (様式 1)

* SGA 性低身長症 (様式 12)

2. 判定書の変更

従来の協会の基準による判定結果に加え、小児慢性特定疾患事業の基準における判定結果を記載するようにしました。